

令和 7 年 12 月 19 日

報道機関 各位

山陰研究交流会
「中国山地における地域資源循環の把握」開催【12/24】

◆本件のポイント

- ・山陰研究交流会では、毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介しています。
- ・資源循環把握方法の地域適用可能性の検討から、中国地方を対象として循環構造の変化を把握できる可能性が示唆されました。
- ・中国地方における酪農産業を対象とした資源循環の中でも堆肥処理が課題として挙げられ、地域資源循環を考慮した牧場の適正規模を考えていく必要があると考えられます。

◆本件の概要

2025 年度山陰研究交流会を開催します。毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介していきます。12月は大津 裕貴 氏(にちなん中国山地林業アカデミー)に「中国山地における地域資源循環の把握」をテーマに発表いただきます。

SDGs やサーキュラーエコノミーの実現に向けて、アグロエコロジーなどの資源循環型の 1 次産業が再度注目されています。本報告では、地域資源循環を把握する方法として特定の資源に注目する資源勘定方法を用いました。特に中国地方の酪農産業において、地域資源が製品や廃棄物となる過程を数量的に把握した結果を紹介します。

◆概要内容

【日 時】2025 年 12 月 24 日(水) 17:15~18:30

【テ マ】中国山地における地域資源循環の把握

【発 表 者】大津 裕貴 氏(にちなん中国山地林業アカデミー)

【開催方法】Zoom によるオンライン(要事前申込み)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学法文学部山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025091700019/>



◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。
開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

【 添付資料: ■あり(1 枚) □なし 】

2025年度 山陰研究交流会

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それとともに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をしていただくことで、専門分野外の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

オンライン
開催

【2025年度開催スケジュール】

10/22
水曜日

江戸時代後期の石見国銀山附幕領における 銭遣い—計算基準貨幣としての「通用銭」—

小林 准士 (島根大学法文学部)

2111 山陰研究共同プロジェクト「石見銀山附幕領における銀山・銅山・鉄山
—非農業世界からみた「幕領社会論」の構築—」

11/26
水曜日

幕末大社のうた詠む夫婦 —手錢有鞆とさの子の文事—

野本 瑠美 (島根大学法文学部)

2501 山陰研究プロジェクト「山陰の文学・歴史関係資料の基礎研究と公開方法の
開発に関するプロジェクト」

12/24
水曜日

中国山地における地域資源循環の把握

大津 裕貴 氏 (にちなん中国山地林業アカデミー)

2402 山陰研究プロジェクト「持続可能な地域発展のためのボトムアップ型政策に
関する研究」

※本会のみ開催時間が【17:15～18:30】となります。ご留意ください。

2026
1/28
水曜日

山陰のこれからの観光について

福井 栄二郎 (島根大学法文学部)

2301 山陰研究プロジェクト「アフターコロナの社会動態とその課題
—いま、ここにしかない山陰地域の「観光」を考える」

開催時間

各回共通 16:00～17:30

12/24(水)
のみ 17:15～18:30

参加方法

ホームページ掲載の申込み方法をお読みいただき、各開催日の前日までにお申込み下さい。

●山陰研究交流会 オンライン参加時の注意事項

<https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2020101900014/>

●2025年度山陰研究交流会案内ページ

<https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025091700019/>



<申込・お問い合わせ先>

島根大学法文学部山陰研究センター

0852-32-9833

admin-src@soc.shimane-u.ac.jp